

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 7 年 1 月 24 日(2025.1.24)

【公開番号】特開 2023-137559(P2023-137559A)  
【公開日】令和 5 年 9 月 29 日(2023.9.29)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-184  
【出願番号】特願 2022-43813(P2022-43813)  
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 304 D

A 63 F 7/02 334

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 1 月 16 日(2025.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を実行し、可変表示の結果として特定表示結果が導出されることで遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可動体と、

表示手段と、

複数の発光手段と、

演出制御手段と、

可動体制御手段と、を備え、

30

前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、

前記演出制御手段は、特定の可変表示パターンに基づく可変表示中において、遊技者に動作を促す動作促進演出を行うことが可能であり、

前記特定の可変表示パターンは、

前記動作促進演出が実行されるまでの第 1 パートと、

前記第 1 パートの後に実行され、前記動作促進演出の結果が報知される第 2 パートと、

を含んで構成され、

前記可動体制御手段は、

40

前記可動体を第 1 期間動作させる第 1 動作制御パターンと、前記可動体を前記第 1 期間よりも短い第 2 期間動作させる第 2 動作制御パターンと、で前記確認動作制御を行うことが可能であり、

前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示が開始される前の可変表示の終了直前に電断が発生し、その後、電源投入がされた場合、前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示の実行中において前記第 2 動作制御パターンで前記確認動作制御を行って前記第 2 パートが開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行うことが可能であり、

前記表示手段は、

告知前シーンにおいて、告知オブジェクトを非告知態様で表示し、キャラクタを第 1

50

表示態様で表示し、

前記特定表示結果が導出される場合、前記告知前シーンの後、前記告知オブジェクトを告知態様で表示し、前記キャラクタを前記第 1 表示態様とは異なる第 2 表示態様で表示し、

前記特定表示結果が導出されない場合、前記告知前シーンの後、前記告知オブジェクトを非告知態様で表示し、前記キャラクタを前記第 1 表示態様および前記第 2 表示態様とは異なる第 3 表示態様で表示し、

電源投入がされたときに初期化処理を伴う第 1 の場合と、電源投入がされたときに初期化処理を伴わない第 2 の場合とで、デモンストレーション表示を行うことが可能であり、

10

電源投入がされたときに起動準備表示を表示可能であり、

前記有利状態に制御されているときに電断が発生し、その後電源投入がされた場合と、前記有利状態に制御されていないときに電断が発生し、その後電源投入がされた場合とで、共通の態様にて前記起動準備表示を表示可能であり、

前記可動体制御手段は、

前記第 1 の場合と前記第 2 の場合の何れであっても、前記デモンストレーション表示が開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行うことが可能である、

ことを特徴とする遊技機。

20

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(A) 可変表示を実行し、可変表示の結果として特定表示結果が導出されることで遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可動体と、

表示手段と、

複数の発光手段と、

30

演出制御手段と、

可動体制御手段と、を備え、

前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、

前記演出制御手段は、特定の可変表示パターンに基づく可変表示中において、遊技者に動作を促す動作促進演出を行うことが可能であり、

前記特定の可変表示パターンは、

前記動作促進演出が実行されるまでの第 1 パートと、

前記第 1 パートの後に実行され、前記動作促進演出の結果が報知される第 2 パートと、を含んで構成され、

40

前記可動体制御手段は、

前記可動体を第 1 期間動作させる第 1 動作制御パターンと、前記可動体を前記第 1 期間よりも短い第 2 期間動作させる第 2 動作制御パターンと、で前記確認動作制御を行うことが可能であり、

前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示が開始される前の可変表示の終了直前に電断が発生し、その後、電源投入がされた場合、前記特定の可変表示パターンに基づく可変表示の実行中において前記第 2 動作制御パターンで前記確認動作制御を行って前記第 2 パートが開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行うことが可能であり、

前記表示手段は、

50

告知前シーンにおいて、告知オブジェクトを非告知態様で表示し、キャラクタを第 1 表示態様で表示し、

前記特定表示結果が導出される場合、前記告知前シーンの後、前記告知オブジェクトを告知態様で表示し、前記キャラクタを前記第 1 表示態様とは異なる第 2 表示態様で表示し、

前記特定表示結果が導出されない場合、前記告知前シーンの後、前記告知オブジェクトを非告知態様で表示し、前記キャラクタを前記第 1 表示態様および前記第 2 表示態様とは異なる第 3 表示態様で表示し、

電源投入がされたときに初期化処理を伴う第 1 の場合と、電源投入がされたときに初期化処理を伴わない第 2 の場合とで、デモンストレーション表示を行うことが可能であり

10

電源投入がされたときに起動準備表示を表示可能であり、

前記有利状態に制御されているときに電断が発生し、その後電源投入がされた場合と、前記有利状態に制御されていないときに電断が発生し、その後電源投入がされた場合とで、共通の態様にて前記起動準備表示を表示可能であり、

前記可動体制御手段は、

前記第 1 の場合と前記第 2 の場合の何れであっても、前記デモンストレーション表示が開始されるよりも前に前記確認動作制御が終了するように前記可動体の制御を行うことが可能である、

ことを特徴とする。

20

30

40

50